MIZUHO　みずほ銀行　One MIZUHO

みずほCustomer Desk Report　2019/12/16 号 (As of 2019/12/13)

市場営業部　為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	109.56 AUD/USD
TKY 9:00AM	109.40	1.1183	122.37	1.3473	0.6925
SYD-NY High	109.71	1.1200	122.65	1.3516	0.6939
SYD-NY Low	109.00	1.1101	121.37	1.3181	0.6864
NY 5:00 PM	109.35	1.1121	121.55	1.3330	0.6879

NY DOW	28,135.38	3.33	日本2年債	-0.130	0.00bp
NASDAQ	8,734.88	17.56	日本10年債	-0.020	1.00bp
S&P	3,168.80	0.23	米国2年債	1.6058	▲5.65bp
日経平均	24,023.10	598.29	米国5年債	1.6557	▲7.43bp
TOPIX	1,739.98	27.15	米国10年債	1.8235	▲7.14bp
ｼｶｺﾞ日経先物	23,940.00	170.00	独10年債	-0.2930	▲2.10bp
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	7,353.44	79.97	英10年債	0.7880	▲3.05bp
DAX	13,282.72	61.08	豪10年債	1.2640	10.65bp
ﾊﾝｾﾝ指数	27,687.76	693.62	USDJPY 1M Vol	4.66	▲0.09%
上海総合	2,967.68	51.98	USDJPY 3M Vol	5.43	▲0.10%
NY金	1,481.20	8.90	USDJPY 6M Vol	5.83	▲0.13%
WTI	60.07	0.89	USDJPY 1M 25RR	-1.03	Yen Call Over
CRB指数	183.81	0.89	EURJPY 3M Vol	5.70	▲0.13%
ドルインデックス	97.17	▲ 0.23	EURJPY 6M Vol	6.09	▲0.19%

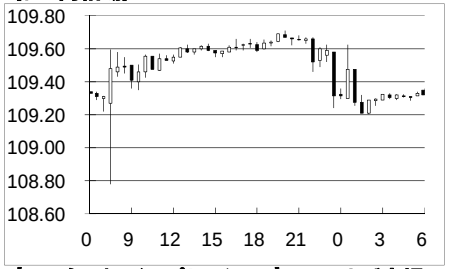
【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
12月13日	13:30	日	鉱工業生産(前月比/前年比)･確報	10月	-4.5%/-7.7%	-
	22:30	米	小売売上高速報(前月比)	11月	0.2%	0.5%
12月14日	01:00	米	ウィリアムズ･NY連銀総裁「低インフレだが、我々の目標に近づいている」			

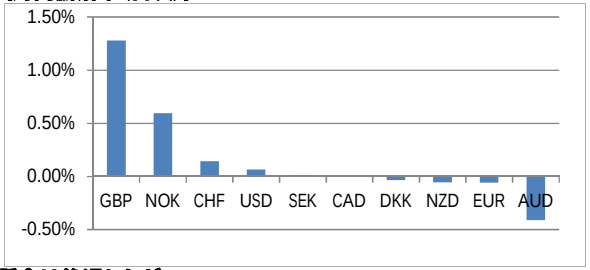
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
12月16日	11:00	中	小売売上高/固定資産投資/鉱工業生産 (年初来前年比)	11月	8.0%/5.2%/5.5%	8.1%/5.2%/5.6%
	17:30	独	ﾏｰｸｲｯﾄPMI (製造業/サービス業/コンポジット)	12月	44.6/52.0/49.9	44.1/51.7/49.4
	18:00	欧	ﾏｰｸｲｯﾄPMI (製造業/サービス業/コンポジット)	12月	47.3/52.0/50.7	46.9/51.9/50.6
	22:30	米	ニューヨーク連銀製造業景気指数	12月	4.0	2.9
	23:45	米	ﾏｰｸｲｯﾄ製造業/サービス業/総合PMI	12月	52.6/52.0/-	52.6/51.6/52.0

【ドル円相場】



【対円騰落率（日次）】



東京	東京時間のﾄﾞﾙ円は109.40ﾚﾍﾞﾙでｽﾀｰﾄ。米中が第一弾の貿易合意に達し追加関税が回避される見込みとなったことや、英総選挙で与党保守党が過半数を獲得し勝利したとの報道を受け、朝から全般的に円売りの動きが目立った。じりじりと109..63まで上昇した後は上値が重くなり、109.59ﾚﾍﾞﾙで海外時間へ渡った。
ロンドン	ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、109.59ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。米中貿易合意に関して正式なｱﾅｳﾝｽ待ちではあるものの、期待感からﾘｽｸｵﾝの地合いは継続。109.71を付けてからは揉み合う展開となり、109.53ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。ﾎﾟﾝﾄﾞﾄﾞﾙは、1.3472ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。英総選挙の出口調査が前日明らかになった直後、ﾎﾟﾝﾄﾞは上昇したものの、当日のﾎﾟﾝﾄﾞ相場はじりじりと売られる展開となり、1.3358を付けた後、1.3386ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。(ﾛﾝﾄﾞﾝﾄｰﾙﾌﾘｰ 00531 444 179 永井)
ニューヨーク	前日のNYｸﾛｰｽﾞ後、英総選挙の出口調査で与党･保守党が過半数を獲得する見通しが伝わると、ﾌﾟﾚｸﾞｼﾞｯﾄを巡る不透明感が払拭されたことが好感され、ﾘｽｸ選好ﾑｰﾄﾞが強まる中、海外市場のﾄﾞﾙ円は109円半ばで底堅く推移。米中貿易協議の進展期待もあいまって、109.71まで上昇し、109.53ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は米11月小売売上高(速報値)が予想を下回ったが、ﾄﾞﾙ円の反応は限定的だった。その後、ﾄﾗﾝﾌﾟ米大統領が昨日の米紙報道を巡り「合意や関税に関する内容が完全に間違っている」と述べたことに売りで反応し、109.24まで下落するが、中国が会見で「第一段階の貿易交渉で大きな進展を遂げた」と述べたことが伝わると109.62まで反発する。しかし、会見終了後にﾄﾗﾝﾌﾟ大統領が「15日の追加関税発動は取りやめるが、25%の関税は維持する」と述べ、前日報道されていたほど対中関税が緩和されなかったことが伝わると、上値が重くなり、ﾀﾞｳ平均がﾏｲﾅｽ圏に沈む動きを眺め、安値109.21をつける。午後は小幅値を戻すも、週末を控え小動きとなり、結局、109.35ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。一方、海外市場のﾕｰﾛﾄﾞﾙは、英総選挙の出口調査結果に上昇するﾎﾟﾝﾄﾞに連れ高となったことから1.1200をﾀｯﾁ。その後、1.1180近辺でもみ合い、1.1171ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は米金利の低下や戻り売りに圧迫されたﾎﾟﾝﾄﾞに連れ安となり、一時1.1112まで下落する。前述のﾄﾗﾝﾌﾟ大統領の発言を受けて、米金利が低下する中、その後も1.1120近辺で上値重く推移し、結局、1.1121ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。

【マーケット･インプレッション】　ひとまず市場の懸念は後退したが、、、

イベントが盛りだくさんであった先週、特に市場の注目を集めたのは英国の総選挙の結果と追加関税の発動期限が迫った米中貿易協議の動向であったことは間違いないだろう。英国の総選挙については、与党保守党が過半数を大幅に上回る365議席を獲得する圧勝となり、秩序ある離脱の実現性が高まったことに加え、米中貿易協議も第一段階の合意に到達、12月15日に迫っていた米中両国による追加関税の賦課も見送られ、米中両大国の歩み寄りが見られたことで、対英ポンドや対ドルで円安が進行、ドル円は一時109.71まで上昇し、109.35近辺で越週する展開となった。近年の一番の懸念材料であった英EU離脱問題と米中問題について、ひとまず最悪のシナリオが避けられたことで、為替市場においては懸念後退からの楽観ムードが醸成されやすい地合いの中、当面ドル円は底堅い展開となるものと見ている。しかし、英EU離脱問題については、来年12月までの離脱移行期間中に実施される貿易協定等各種詳細な条件交渉が残っており、離脱に係る真の影響の大きさが見極められていないことに加え、米中問題についても、一部追加関税が引き下げられる見通しではあるものの、更なる追加関税の引き下げ等は第二段階以降の交渉次第であり、当該問題の本質的な解決には至っていないことを勘案すると、先週の一連のイベント結果は、最悪のシナリオは避けられた、というだけであり、両問題が今後も市場の懸念材料として根強く残る状況は不変と見ている。来週からはクリスマスウィーク、そして、その後すぐに年末年始を控え、市場の流動性が徐々に低下することが予想される中、引き続き両問題に係るヘッドラインに市場は敏感に反応してくるものと見ており、昨年1月3日のような急落等のリスクも視野に入れて、下値への十分な備えはしておきたい。(光石)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当：光石･大谷 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円　見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ブル	ベア	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア

ブル	ベア
11	9

OneMIZUHO